

2026年12月期第３四半期 決算補足説明資料

2026年11月4日

株式会社イトーキ（東証プライム：7972）

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.








目次

1．2026年12月期３四半期 連結業績

2．Office3.0

Appendix

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.



1. 2026年12月期３四半期 連結業績

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

2026年12月期第３四半期 連結業績サマリー

- **過去最高値を更新（第３四半期連結累計期間および第３四半期）**

  売上高　：　8.5%増収、５期連続の増収、４期連続で過去最高の売上高を更新
  営業利益：　10.6%増益、６期連続の増益、４期連続で過去最高益を更新

- **売上高、営業利益ともに想定どおりの進捗**

ワークプレイス事業

- ハイブリッドな新しい働き方にあわせたリニューアル案件を中心に**増収**
- 増収効果および提供価値の向上による利益率の良化により、**増益**

設備機器・パブリック事業

- 研究施設向け設備が好調に推移し、**増収**
- 研究施設向け設備における増収効果、利益率の良化により、**大幅増益**

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

2026年12月期第３四半期 連結業績

2026年1月1日～2026年9月30日　単位：億円

【連結】	25/12 第３四半期		26/12 第３四半期		増減		通期予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
売上高	1,124	—	**1,220**	—	+95	+8.5%	1,675	72.9%
売上原価	650	57.8%	**703**	**57.6%**	+52	+8.1%	—	—
売上総利益	474	42.2%	**517**	**42.4%**	+43	+9.1%	—	—
販管費	357	31.8%	**388**	**31.9%**	+30	+8.6%	—	—
営業利益	116	10.3%	**128**	**10.5%**	+12	+10.6%	160	80.3%
経常利益	114	10.2%	**128**	**10.6%**	+14	+12.5%	160	80.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	76	6.8%	**85**	**7.0%**	+8	+11.1%	112	76.0%

【セグメント】		25/12 第３四半期		26/12 第３四半期		増減		通期予想	
		金額	売上比	金額	売上比	金額	増加率	金額	進捗率
ワークプレイス事業	売上高	826	—	**895**	—	+68	+8.3%	1,215	73.7%
	営業利益	94	11.5%	**96**	**10.8%**	+1	+1.7%	136	70.9%
設備機器・パブリック事業	売上高	286	—	**313**	—	+27	+9.6%	443	70.8%
	営業利益	20	7.0%	**30**	**9.9%**	+10	+54.1%	22	140.9%
（内訳）ダルトン	売上高	155	—	**182**	—	+26	+16.9%	230	79.2%
	営業利益	14	9.5%	**23**	**12.9%**	+8	+59.4%	15	157.0%

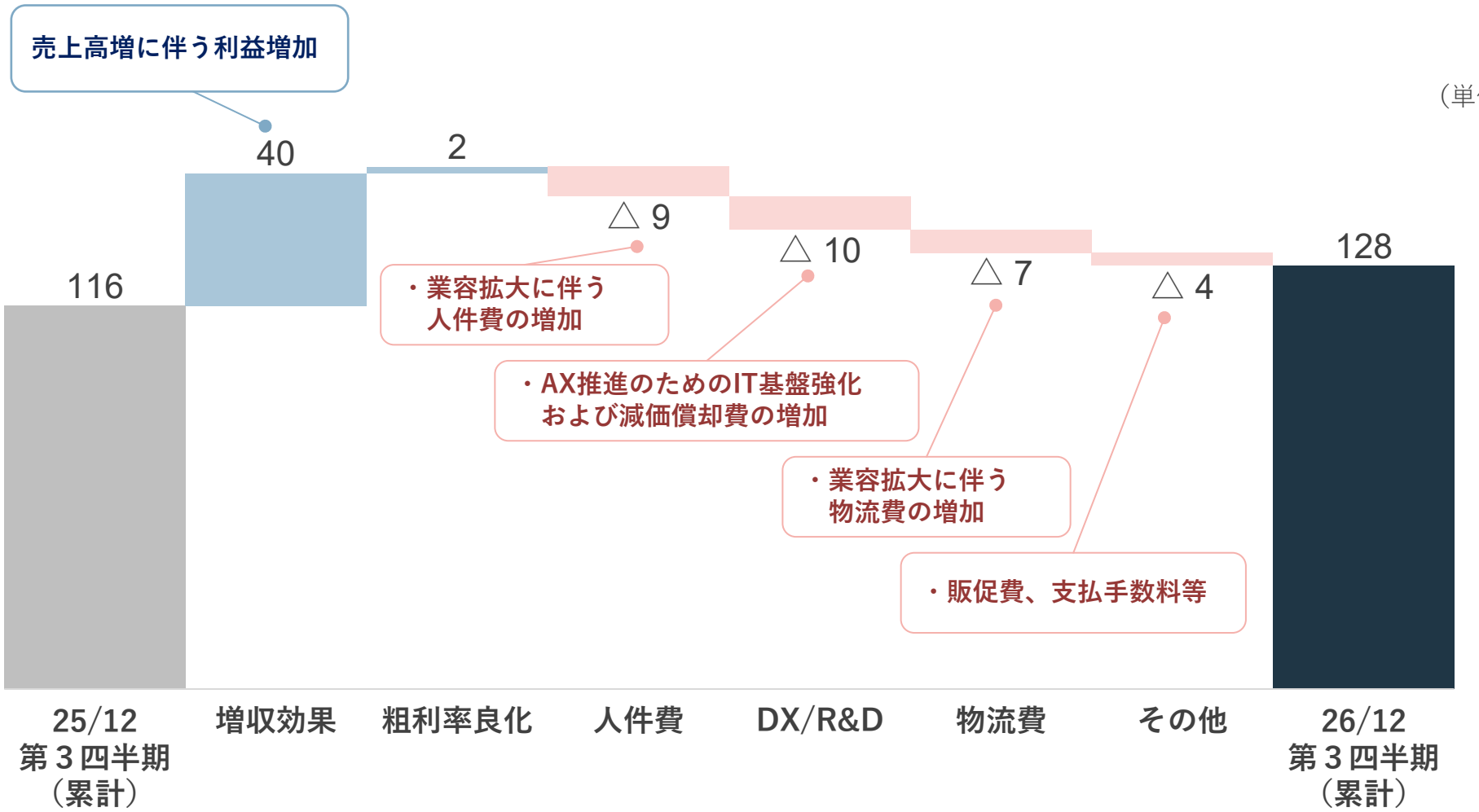
※ダルトンは、ダルトン連結

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

営業利益の増減要因（前年同期からの分析）

ワークプレイス事業および研究施設向け設備の売上増加、粗利率良化により販管費増を吸収し、過去最高益を更新

（単位：億円）



© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

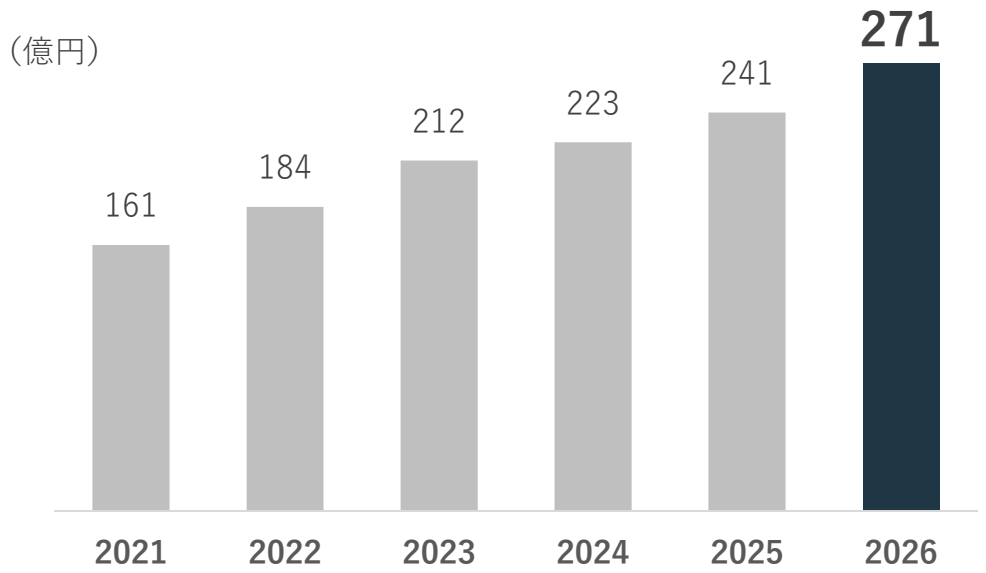
ワークプレイス事業　2026年12月期第３四半期（単独）業績

売上高

過去最高

271億円

Q3単独 YoY　+30億円（+12.7%）

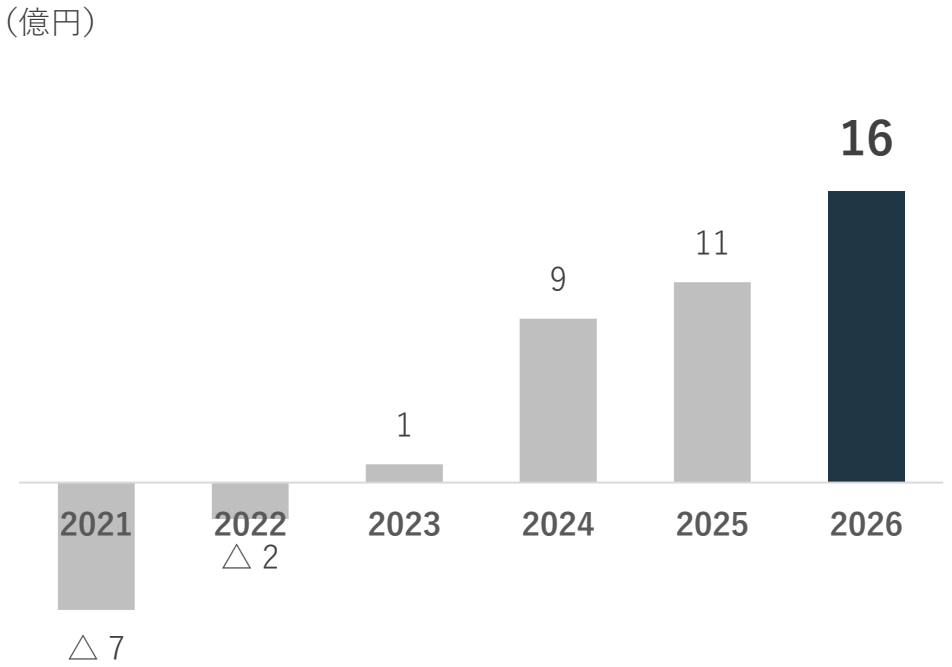


営業利益

過去最高

16億円

Q3単独 YoY　+4億円（+40.3%）



© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

2026年12月期 業績予想

2026年1月1日～2026年12月31日　単位：億円

【 連結 】	2025年12月期 実績	2026年12月期 予想	増減	
			金額	増加率
売上高	1,536	**1,675**	+139	+9.0%
営業利益	136	**160**	+24	+16.9%
経常利益	137	**160**	+23	+16.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	93	**112**	+19	+19.4%
〔営業利益率〕	〔8.9%〕	**〔9.6%〕**	―	〔+0.7pts〕

【 セグメント 】		2025年12月期 実績	2026年12月期 予想	増減	
				金額	増加率
ワークプレイス事業	売上高	1,115	**1,215**	+100	+9.0%
	営業利益	109	**136**	+27	+23.7%
	〔営業利益率〕	〔9.9%〕	**〔11.2%〕**	―	〔+1.3pts〕
設備機器・パブリック事業	売上高	405	**443**	+38	+9.4%
	営業利益	24	**22**	△2	△9.9%
	〔営業利益率〕	〔6.1%〕	**〔5.1%〕**	―	〔△1.0pts〕
（内訳）ダルトン	売上高	214	**230**	+16	+7.1%
	営業利益	17	**15**	△2	△13.1%
	〔営業利益率〕	〔8.0%〕	**〔6.5%〕**	―	〔△1.5pts〕

※ダルトンは、ダルトン連結

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI DESIGN HOUSE

SHIGA

（2026/01 Open）

2026年は来場社数が約5.0倍、来場人数が約3.1倍に増加

	2025年		2026年	
1～10月累計 来場社数	75社	→	373社	前年差 +298社 YoY 497%
1～10月累計 来場人数	622名	→	1,943名	前年差 +1,321名 YoY 312%

「FRAME Awards 2026」 世界一を受賞

ITOKI DESIGN HOUSE SHIGAが、国際的な空間デザイン賞「FRAME Awards 2026」において、世界1,000件を超える応募の中から、Showroom部門「Winner of the Year」を受賞しました。
空間デザインだけでなく、「共創」を軸とした新しい働き方や、地域素材・サーキュラーな思想まで含めた取り組みが国際的に高く評価されました。



© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI DESIGN HOUSE SHANGHAIを開設

上海に新拠点、
家具の製造販売から高付加価値のワークスタイルデザインへ事業転換し、
ジャパンモデルで中国事業を強化





© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI DESIGN HOUSE

FUKUOKA

（2026/12 Open）







© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI DESIGN HOUSE

OSAKA

（2027/05 Open）







© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

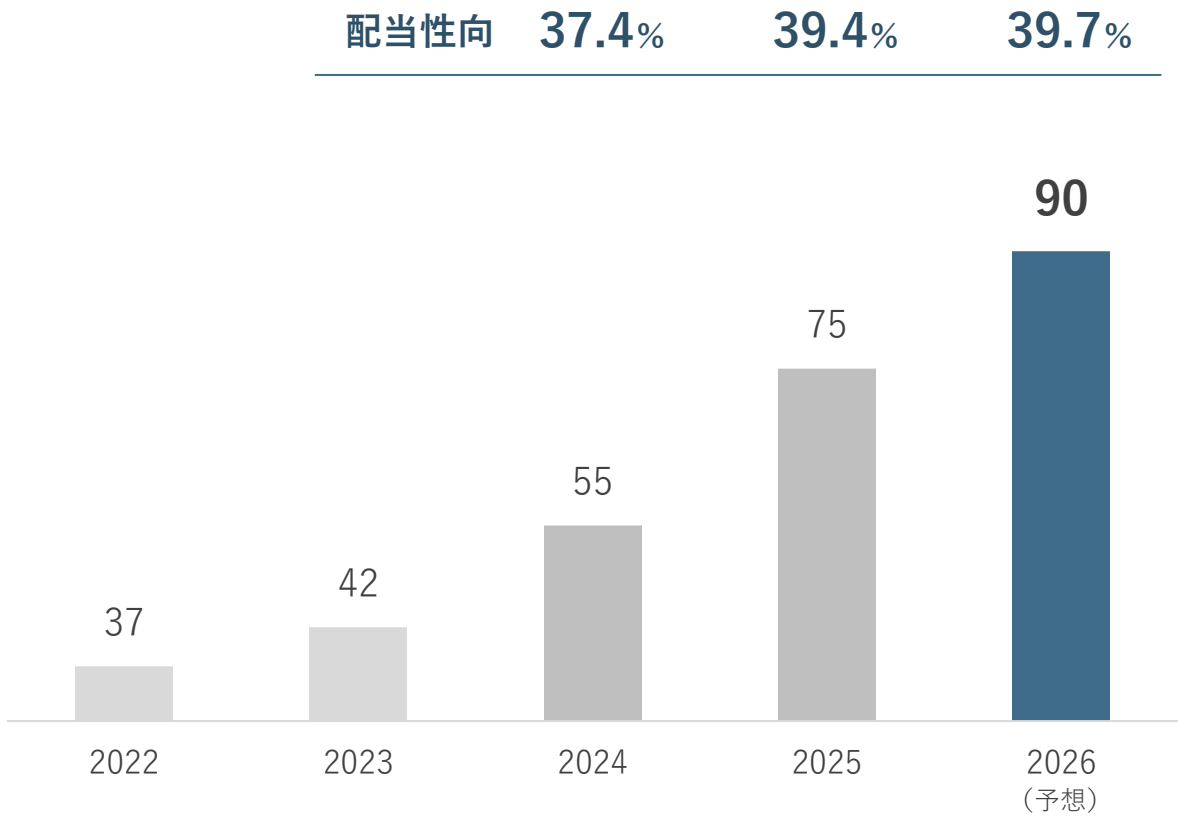
株主還元（2026年12月期 配当予想）

株主還元方針

当社は、利益配分につきましては、経営の重点政策の一つとして認識し、会社の収益状況、内部留保の充実、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案したうえで、株主の皆様に継続的かつ安定的に配当することとし、期末配当として年１回を行うことを基本方針としております。

今後の配分につきましては、更なる株主重視の経営を志向し、従来の安定配当に加えて連結業績を考慮するとともに、**配当性向40%を目指し**、配当政策を実施してまいります。また、内部留保につきましては、企業価値の向上を図るために、将来の成長に不可欠な研究開発や成長分野への戦略的な投資を中心に効率的に活用してまいります。

１株当たり年間配当金（円）の推移



© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

監査等委員会設置会社への移行に関するお知らせ

当社は、2026年11月４日開催の取締役会において、2027年３月下旬開催予定の第77回定時株主総会での承認を条件として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行する方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

移行の理由

当社は、「明日の『働く』を、デザインする。」をミッションに掲げ、働く人々や社会の課題解決を通じた価値創造に取り組んでおります。その基盤として、取締役会の任意諮問機関である指名委員会・報酬委員会を設置するなど企業経営の透明性・公正性の向上に努め、ステークホルダーの皆さまからの信頼を高めるコーポレートガバナンスの充実を進めてまいりました。

今般、事業の変革と持続的な成長を支える経営基盤を一層強化するため監査等委員会設置会社へ移行することといたしました。

執行と監督の役割をより明確にし、経営の意思決定の迅速化と取締役会の監督機能の強化を両立させ、中長期的な経営戦略や企業価値の向上に関する審議を充実させてまいります。

移行の時期

2027年３月下旬開催予定の第77回定時株主総会において、必要な定款変更等についてご承認いただくことを条件に、監査等委員会設置会社へ移行する予定です。

その他

定款変更の内容および役員人事等を含む移行の詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.



2. Office3.0

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI OFFICE AI AGENTS

AIエージェントによる
ファシリティマネジメント（FM）業務の生産性向上

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

ITOKI OFFICE AI AGENTS



Facility Portfolio AI

ファシリティポートフォリオAI



Workplace Insight AI

ワークプレイスインサイトAI



Space Matching AI

スペースマッチングAI

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

お客様とつながりつづけるビジネスから、案件を作り出すビジネスへ

拠点
戦略

働き方
設計

空間
設計

施工
納品

運用
サポート

戦略立案
サポート

ワークスタイル
コンサル

オフィス空間構築

データ活用







© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

再編のスピードと、説明の根拠が求められている

経営からのFM部門への要求

柔軟・迅速な再編

統合・縮小・移転を、**更新時期までに判断する**。
選択肢ごとの効果をシミュレーションする。

背景の例

オフィス賃料の上昇

都心の募集賃料は、上がり続けている。
契約を更新するたびに固定費が膨らむ。

FM部門

経営からのFM部門への要求

根拠のある説明

期間・金額・更新の見込みを、**根拠つきで示す**。
経理・経営・監査法人への説明が増えている。

背景の例

新リース会計基準への移行

2027年4月以降の事業年度から適用。
賃貸借契約が貸借対照表に載る。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

実態が見えず、標準化も進まず、担い手も増えない

課題

お客様の声

拠点の使われ方が見えない

稼働と契約の**実態を把握できていない**。
利用状況は、部門の申告に頼っている。

「席が足りない」と過大に申告

部門は縮小を避け、多めに申告する。
申告ベースの再編では効果が出ない。

図面すらない拠点が多数

多くの不動産を契約・利用している。
利用と契約の実態を、把握できない。

業務が標準化されていない

経験を重ねても、**教訓にできていない**。
同じことに、何度もつまずく。

毎回、同じ指摘のくり返し

部下や業者に、何度も直させている。
時間がいくらあっても足りない。

活用のサイクルが回らない

一部のデータは整えているが、
体系的に整理されていない。

担い手が増えない

担当者が固定され、増員も難しい。
ノウハウが**属人化している**。

若手に引き継げない

長年、同じメンバーで運営してきた。
ノウハウが特定の人に偏っている。

一人の頭では処理しきれない

全拠点の数字を個人のExcelで管理。
展開の速さと量に追いつかない。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

AIを組み込んで、ファシリティマネジメントを進化させる



AI駆動型のファシリティマネジメント

高度化

効率化

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

全拠点の稼働状況を把握し、最適化をシミュレーション

Facility Portfolio AI
ファシリティポートフォリオAI

稼働の可視化と最適化

社内に既にある様々なデータを使い、
全拠点・全フロアの稼働状況を可視化。
契約の期限も織り込んで再編計画を描く。



拠点ごとのリアルタイムの稼働率



適正座席数と面積削減のシミュレーション

ワークプレイスデータ集約

Wi-Fi、入退室、会議室等の施設予約など、各拠点に**既にあるデータ**を集約します。拠点ごとに形式のちがうデータを、整理・統合して稼働状況を可視化します。データ収集のための**新しいツールへの投資をできる限り抑えます。**

稼働率の可視化

拠点どうしの比較、フロア別、部門別、曜日別と、切り口を変えてさまざまな分析が可能です。目的や決めたいことを伝えると、**判断に必要な分析画面がその場で組み上がります。**手作業による集計や分析作業は不要です。

最適化シミュレーション

適正な席数と面積、フロアごとの入居組織の配置（スタッキング）などをシミュレーション。人員の増減や出社率、**契約の期限**も織り込み、**統合・縮小・移転の再編計画**を時間軸で描きます。シミュレーションには**イトーキのノウハウ**が入っています。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

プロジェクトごとの検討と判断をデータとして蓄積・活用

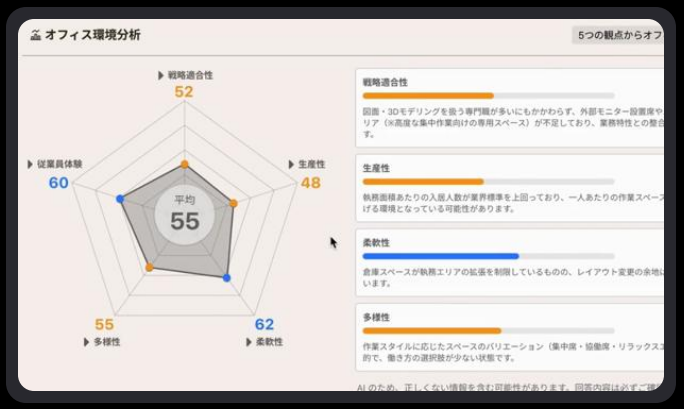
Workplace Insight AI
ワークプレイスインサイトAI

プロジェクトの推進支援

蓄積されたデータや専門家の知見を活用し、
課題整理から稟議、進行までをサポート。
教訓もデータにして、次のプロジェクトへ。



オフィス総合評価とエグゼクティブサマリ



5つの観点からのオフィス環境分析

課題整理

写真、図面、アンケート、ヒアリングの内容など、**形式を問わず入れるだけ**で分析が可能です。**蓄積されたデータ**や**イトーキの専門家の知見**で現状の課題を整理し、優先順位を付けます。取り組む課題を示します。

予算策定・稟議

蓄積された**費用・期間のデータや、**イトーキが持つベンチマークデータをもとに、**費用対効果**を経営が見る指標で検証し、稟議資料を作ります。役員・財務・人事の目でもレビューすることで**指摘を先回り**して**差し戻し**を防ぎます。

プロジェクト進行

RFPの作成からパートナー企業への展開、提案書・図面・見積の評価、さらには定例会開催・議事録・資料や図面の版管理までプロジェクト進行全般を**手戻りなく**迅速に支援します。プロジェクトで学んだ**次に生かす教訓もここでデータにします。**

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

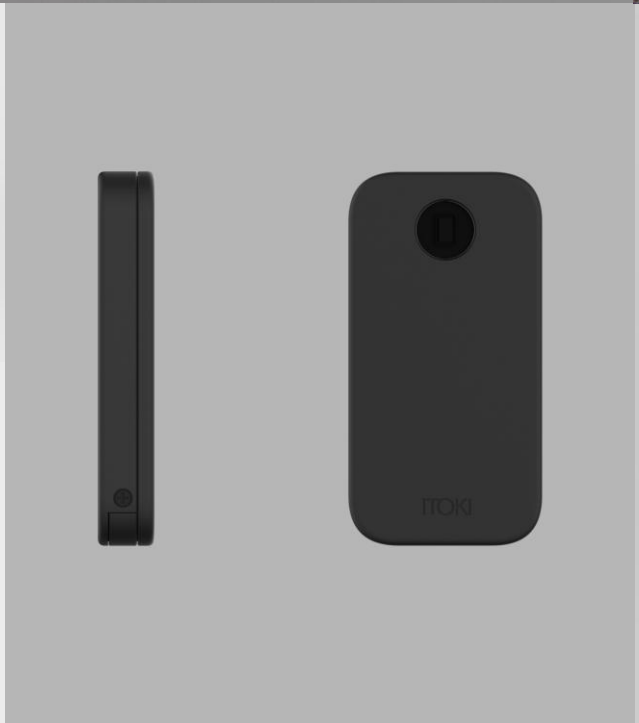




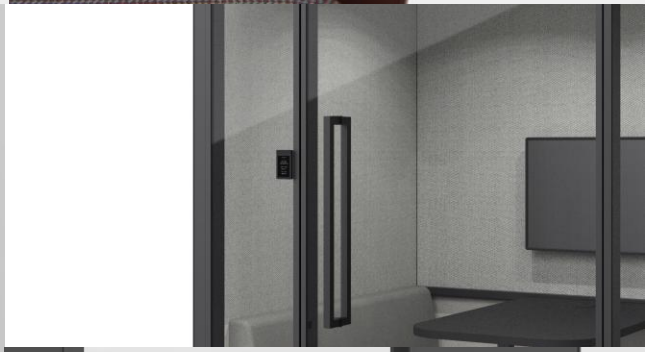














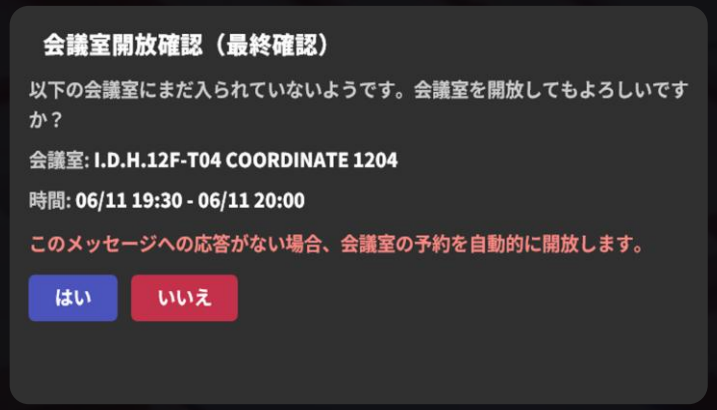
© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

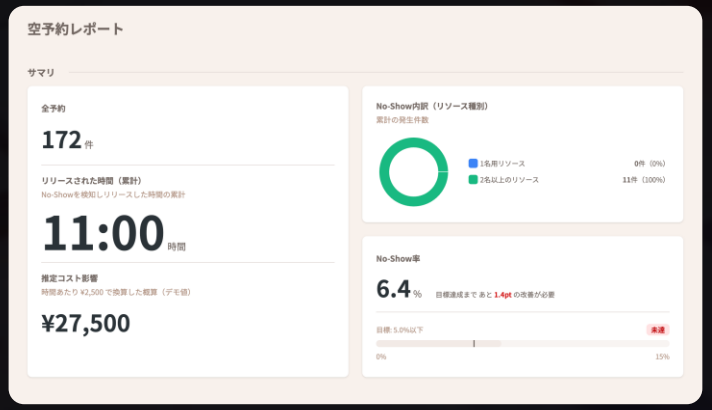
使われていない予約を、予約した人に確かめてから自動で開放する

Space Matching AI

供給を増やす
空予約を検知して開放する

センサーで空予約を見つけ、
予約した人とやり取りしながら
枠を開放する





センサーで「空予約」を見つける

- Office Box やチェアのセンサー、Wi-Fi で在席を検知する
- 予約の時間になっても人がいない部屋を見つける

実際に使われているかを確認する

予約した人にチャットで確認

- 予約の時間に人がいなければ、5分おきに3回まで問いかける
- 「使う」と答えれば、予約はそのまま残す

勝手に消さない。使う人の予定は守る

返事がなければ、自動で開放する

- 20分たっても返事がなければ、予約を開放する
- 開放した結果を、予約した人にあらためて知らせる
- 空いた枠は、待っている人に回す

部屋を増やさずに、使える枠が増える

人のいない予約を取り戻すだけで、部屋を増やさずに会議室と席の供給が増える。「会議室が足りない」という声に、面積も賃料も足さずに答えられる。

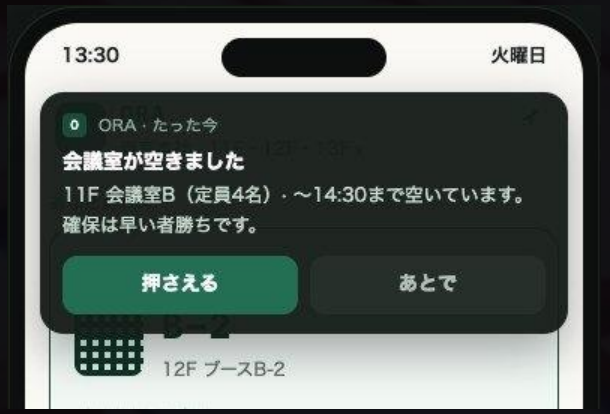
© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

「今すぐ確保したい」人と、いま空いているスペースを瞬時に結ぶ

Space Matching AI

需要とマッチングする
モバイルから最短1タップ

いま使えるワークスペースを、
その場でスマートフォンから
ワンタップで押さえられる







空きが出たら、すぐ知らせる

- 開放された部屋や席を、待っている人に通知する
- 「押さえる」を1タップするだけで確保できる

早い者勝ちを、公平で速い仕組みにする

希望に合う場所を選んで出す

- 人数、時間、モニターやホワイトボードなどの設備の条件で候補を出す
- 同じフロアになければ、別のフロアの候補も出す

部屋を探す時間がなくなる

使い方を学んで、運営に反映する

- お気に入り、クレーム通報、利用実績を集める
- 部門や人ごとの使い方の癖を割り当てに反映する
- 設備の不具合や不満の通報が、そのまま運営に届く

使うほど提案が当たり、総務の手間は減る

供給と需要を毎日つなぎ続けると、実際の使われ方のデータがたまる。このデータが、Facility Portfolio AI の拠点再編の試算の根拠になる。

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

3つのAIエージェントはつながり、一周するごとに業務もAIも進化する

AIが進化する

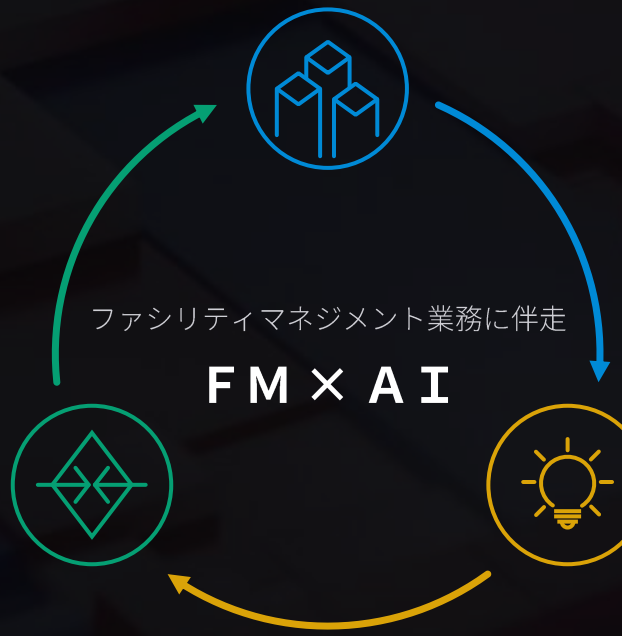
実際の使われ方と、人が下した判断の結果を**学ぶ**。提案の精度が一周ごとに上がる。

人の業務が進化する

判断・稟議の履歴、レビューの教訓が**残る**。次の意思決定は前より速く、確かになる。

Facility Portfolio AI

決める　**拠点の稼働状態を捉え、次の戦略を決める**



Space Matching AI

使い切る　**できたオフィスを、日々使い切る**

Workplace Insight AI

通す・つくる　**社内で通し、プロジェクトを進める**

回すほど、人の業務もAIも進化する、AI駆動型のファシリティマネジメント

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.



Appendix

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

「統合報告書2026」を発行

人を中心に据えた「AIカンパニー」への変革を描き、中計達成の次なる成長への道筋を示した『統合報告書 2026』発行のお知らせ

特集版



統合報告書2026 特集版

本編



統合報告書2026 本編

人的資本レポート



人的資本レポート2026

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

主なトピックス ＜ PR ＞

企業広告「想い、重なる」が「第75回 日経広告賞 人的資本コミュニケーション部門 最優秀賞」を受賞

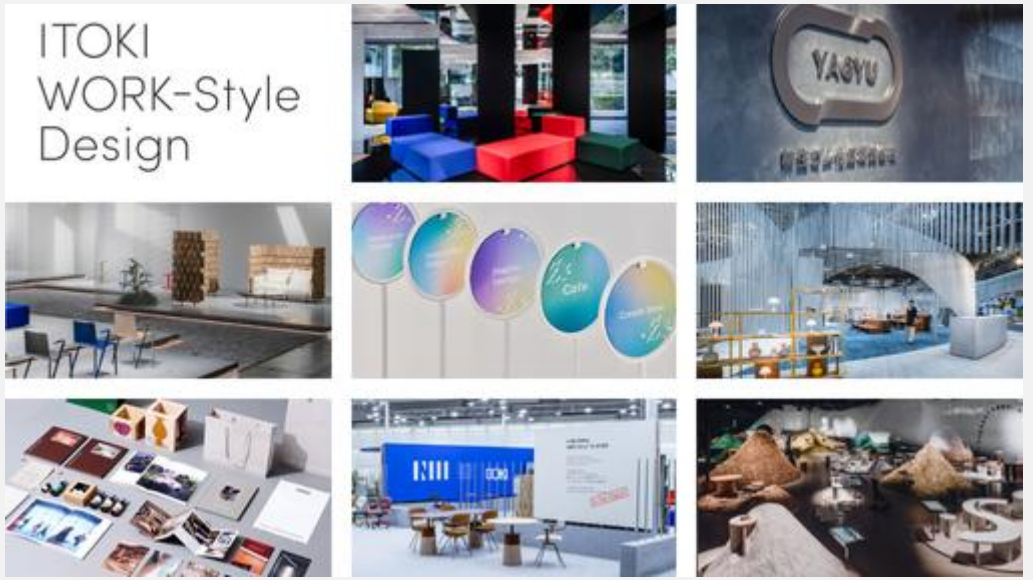
社員同士の絆やチームの力を描き、人的資本経営の価値を発信



2025年12月8日（月）～12日（金）までの5日間連続で日本経済新聞朝刊等に掲出

イトーキのデザイン事例を紹介するWebサイト「ITOKI WORK-Style Design」に、新たに「Exhibition（展示・イベント空間）」「Branding（ブランディング）」の2カテゴリを開設

ITOKI WORK-Style Designでは、イトーキが手がけたプロジェクトの中から、デザイン性の高さや独自の工夫が光る事例を厳選して紹介しています。



ITOKI WORK-Style Design

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

主なトピックス ＜ IR・PR ＞

「JPX日経中小型株指数」への初選定

このたび株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2026年度（2026年8月31日より適用予定）の構成銘柄として新たに選定されましたのでお知らせいたします。

当社は今後も、「明日の『働く』を、デザインする。」をミッションに、働く環境づくりを通じて企業・社会の持続的な発展に貢献するとともに、資本コストと株価を意識した経営を推進し、資本効率と収益性の向上を図りながら、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

ITOKI
明日の「働く」を、デザインする。

ダルトン、製薬や半導体の製造現場の自動化ソリューションを強化 ～STÄUBLIと日本国内の総代理店契約を締結



ストーブリの製薬業界向け産業用ロボット（写真：同社提供）

ダルトン、新本社「THE DALTON NODE」を豊洲に開設、企業ロゴを刷新～人と技術をつなぎ、未来をひらく拠点へ

DALTON

変革への意志を込めた新しい企業ロゴ

© ITOKI CORPORATION All Rights Reserved.

＜注意事項＞

- 当社の連結決算は日本会計基準を採用しております。
- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。

＜IRに関するお問い合わせ＞
株式会社イトーキ
コーポレートコミュニケーション本部
IR・SR部　IR課

電話:03-6910-3910
E-mail:itk-ir@itoki.jp
https://www.itoki.jp/company/ir/